

野辺地地区保護司会

会報

のへじ

2019.3.1

第4号

野辺地地区保護司会 野辺地地区更生保護サポートセンター  
〒039-3112 青森県上北郡野辺地町字中道20-1 野辺地町青少年体育センター内  
TEL.0175-64-5234 FAX.0175-64-5234



人はみな、  
生かされて  
生きていく。



サポートセンターと再犯防止

野辺地地区保護司会

会長 木明昭一郎

寒さ厳しい冬でしたがようやく春を感じさせる今日この頃、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年11月盛岡市で開催された「東北地方再犯防止シンポジウム」に当地区より5名が参加しました。ご承知のように、平成29年12月15日「再犯防止推進計画」が閣議決定され、国民が犯罪による被害を受けることを防止し、安全で安心して暮らせる社会の実現を図るために平成30年度から5年間、政府が取り組む115の再犯防止の施策が盛り込まれた計画です。

施策には保護司活動の充実として、保護司の安定的確保に資する「更生保護サポートセンターの設置の推進」が再犯防止を進める1つとして盛り込まれています。当地区は、平成27年9月に設置・開所しました。施設を快く提供してくれた野辺地町当局及び施設管理者・野辺地町教育委員会を始め地域皆様のご理解ご協力のおかげで積極的な活動がなされ、保護司活動の拠点としての機能を発揮できていることを嬉しく思います。

昨年7月仙台市で「平成30年度東北管内更生保護サポートセンター運営連絡協議会」が開催、私は助言者として参加。開所までの準備や開所後の運営状況等について持参資料も含めてお話ししました。主催者から配布された資料では、東北管内83保護司会の中でサポートセンター設置の保護司会は54でした。参加した未設置保護司会の理由では①公共施設の確保ができない②地区が広範囲③少人数組織で運営が心配等ありました。青森県内では昨年7月時点で4地区未設置でしたが、今年2月現在で2地区が新たに設置・開所されております。

元号が変わる年、更生保護に係る保護司として積極的に再犯防止に取り組む元年ではないでしょうか。

第68回 “社会を明るくする運動”(野辺地町・七戸町)

● 野 辺 地 町

1 小学校でのメッセージ伝達式

7月9日午後、若葉小学校で本平観察所長、天内県保連会長から町長へメッセージの伝達が行われました。所長や町長のお話に子どもたちは真剣に耳を傾けていました。小学生を前にしての伝達式は今回が初めてでした。そこで後日、青森保護観察所及び県保連のご指導のもと野辺地町支部では「小学生へのメッセージ」を作成、町内全小学生に配布して啓発に努めました。



## 2 講話とチターコンサート(講師・日本チター協会会長 内藤敏子氏)

昨年度青森県推進委員会委員長(県知事)感謝状を受賞したチター奏者・内藤敏子氏による「講話とチターコンサート」が7月9日午前は野辺地小学校で、午後は若葉小学校で開催されました。また、7月11日午前には馬門小学校で開催されました。「なにをするときでも大切なことはどれだけ心をこめてしたか」という内藤氏の思いは、お話と演奏を通して確実に子供たちの心に届いたように感じました。



野辺地小学校



若葉小学校



馬門小学校

## ● 七戸町

### 1 作文コンテストで「青森県推進委員会委員長(県知事)賞」を受賞

“第68回社会を明るくする運動”作文コンテスト表彰式が1月10日「アスパム」で開催され、天間林中学校3年・鳴海夏音(なるみかのん)さんが青森県知事賞を受賞しました。表彰式では受賞作を朗読し「非行をした中高生が立ち直るためには居場所、安心して帰って来られる場所をつくるのが大切だと思う」と発表しました。



七戸町支部では、社会を明るくする運動(社明運動)への理解を深めてもらうことをねらいとし、町内小中学校から作品を募集しており、町内6校から今年度は小学校18点、中学校36点の応募があり、昨年に引き続き上位入賞しました。

### 2 書道作品展

七戸町支部では「しちのへオータムフェスタ2018」において町内書道塾3ヶ所から募集した作品49点を展示し、10月27日(土)、28日(日)七戸町中央公園内「屋内スポーツセンター」において書道作品展を開催しました。期間中は多くの来場者に鑑賞いただくとともに、「社会を明るくする運動」の一環としてのぼり旗を掲げリーフレット及びポケットティッシュ等を配布しPR活動を行いました。



## 各種研修会の参加者から

### (1) 第3期地域別定例研修に参加して(12月7日)



保護司(六ヶ所村) 葛西 隆 康

12月7日(火)サポートセンター2階において開催、テーマは「薬物事犯者の処遇について」でした。研修目的は、社会問題の一つ薬物乱用で再犯率が高く保護観察対象者数が高い水準で、その処遇の困難性が指摘されている中で保護観察における薬物処遇の実情や薬物依存症について理解を深め、薬物事犯対象者に対する効果的な処遇のあり方について考えることでした。

私は、保護司になってまだ担当になったことも無いので勉強になることばかりでした。これからまだまだ勉強していかなければならないことがたくさんあると思います。安全安心な地域にするために、保護司として頑張っていかなければならないと考えています。

(2) 東北地方再犯防止シンポジウムに参加して (11月27日)



保護司 (横浜町) 鎌田 登美子

平成29年12月15日「再犯防止推進計画」閣議決定に基づき、再犯防止の重要性について理解を深めるために平成30年11月27日いわて県民情報交流センターで「犯罪をした者等に対する就労の確保」と題して5名によるパネルディスカッションが行われました。中でも社会復帰の機会を与えてくれている協力事業主の方、就労支援を担当している統括保護観察官、就職困難者を支援するハローワークの方、その他この事業に係わる関係機関の方々は、仕事をするのが初めての人、どんな仕事が合うのか、どんな仕事がしたいのかわらない人等を注意深く忍耐強く見守りながら、更生に向けての連携した取り組みに対し敬意と熱意を感じました。

犯罪・非行を犯した人達は、二度と世間に迷惑をかけたくないと思っています。住む所が有り、仕事があり、ごく普通の生活を願っています。出所者が一般社会で孤立することなく、立ち直るための犯罪予防活動の最も重要な就労支援に私達もまた同じ思い、方向を見て活動していく保護司としての取り組む重要性を新たに感じさせられた研修会でした。

(3) 第40回青森県更生保護大会 (南黒地区)に参加して (11月20日)



保護司 (東北町) 乙供 洋子

平成30年11月20日 (火) 藤崎町文化センターに於いて更生保護に携わる600名参加のもと開催。まず始めに風流な楽しみということで菊様の舞、松助の踊り、黒石よされ等が大会に花を添えた。

講演は「私はあなたを見捨てない」という演題で日本キリスト教団弘前西教会の牧師・牛山敬氏が自分の体験談を切々と語ってくれた。

父は学者、母は小学校教師でクリスチャンという家庭に育った牛山氏は、小学校の時にじめに遭った。どうしたらこの悪たちに勝てるか悩んだ末、この子等よりもっと悪くなってやろうと間違った道に進んでしまったが、「私はあなたを見捨てない」という差出人不明の手紙が毎年届く。母親がいつかは更生してほしいと息子を信じての行動だと思われる。麻薬に手を染め、暴走行為を繰り返し、警察に捕まる等していた自分がいやになり薬を大量に飲んで自殺を図ったが一命を取り留めた。この時、そばにいた両親は「生きていて良かった」と本当に喜んでくれたという。おかげでどん底に落ちた自分でも更生することができた。今は、少しでも人の役に立ちたいという思いで保護司として頑張っているというお話だった。

牛山氏のお話に感動するとともに、このような有意義な更生保護大会に参加することができ感謝しております。

新任保護司 (30年度委嘱)

①氏名・所属など ②趣味や特技 ③職業 ④メッセージ



- ① 沖津 賢一 (おきつ けんいち)  
横浜町支部 平成30年9月委嘱
- ② ・ラーメン食べ歩き・映画鑑賞・読書・日帰り温泉・本屋巡り
- ③ 歯科技工士
- ④ 「初めての対話(保護観察)」

「彼」は一時的な感情のもつれから家を飛び出し、定職に就かず、生活に困るようになり犯罪を犯してしまいました。それでも家族は彼を温かく迎えた。今、父の家業を手伝い、生活を共にしている。家族のありがたさを再認識し感謝することが更生の励みになってくれたら良いと思う。私は平成30年9月1日に委嘱状を拝命した。不安だらけの中で、保護司活動がスタートした。今、面接をしている彼の顔が輝きを増している。それが新任保護司の私の励みである。

# 金澤文子様

～長い間 お疲れさまでした～

金澤文子様(野辺地町支部)は、平成31年2月28日をもって任期満了でご退任なされました。平成17年保護司として委嘱を受けて以来14年間の長きにわたってのご活躍と私達へのご指導等々に深く感謝申し上げます。本当にお疲れ様でした。本当に有り難うございました。

## 退任にあたって

金澤文子

平成17年3月保護司の辞令をいただいた数日後に担当観察官より保護観察の連絡があり、あまりの早さにびっくり仰天したこと、不安ながらも覚悟を決めて真剣に向き合ったこと等々を思い出します。



平成27年9月のサポートセンター開設に際して、木明会長、藤谷前副会長(故人)、四戸前事務局長と青森保護観察所へ何度も出かけたことも懐かしく思い出します。そして開設後「企画調整保護司」として他の支部(七戸町、東北町、横浜町、六ヶ所村)の保護司と勤務を共にする中で多方面に亘って得たことは、私にとって大きな財産となりました。

保護観察中の方から、ある年の母の日に「保護司のお母さん、ありがとう！いつも色々悩みを聞いてくれてありがとうございます。感謝しています。」とのメッセージカードをもらい感動し、誠意を持って接して良かったと思っています。

14年間の保護司生活でしたが、保護司の皆様を支えられて終えることに幸せ一杯です。地区保護司会の発展と会員皆様のご多幸を願っております。どうもありがとうございました。

## 平成30年度保護司功労受章者 ～おめでとうございます～

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| ○ 藍 綬 褒 章              | 木 明 昭一郎 様(野辺地町)  |
| ○ 法 務 大 臣 表 彰          | 鳴 海 憲 治 様( 〃 )   |
| ○ 全国保護司連盟理事長表彰         | 金 澤 文 子 様( 〃 )   |
| ○ 東北地方更生保護委員会委員長表彰     | 田 中 正 徳 様(東 北 町) |
| ○ 青森県知事感謝状             | 鳥 谷 部 義 道 様( 〃 ) |
| ○ 青森保護観察所所長表彰          | 楠 フミエ 様(七 戸 町)   |
|                        | 附 田 俊 仁 様( 〃 )   |
| ○ 青森県保護司会連合会会長表彰(内助功労) | 寺 澤 弘 子 様( 〃 )   |



※なお、私達と保護司活動している田中正徳様が警察功労(危険物従事者)により「瑞宝双光章」を、木明昭一郎様が長年にわたる保護司活動の功績により野辺地町より「善行表彰」されました。

## 編集後記



あと2ヶ月ほどで元号が変わります、平成から〇〇へ。この4号は、いわゆる平成最後の「会報のへじ」になります。だから、というわけでもないのですが新たに「研修報告」も載せることにしました。原稿執筆等ご協力いただいた皆様方、本当にありがとうございました。今後もいろいろ編集内容等について皆様からご意見をいただきたいと思いますのでご協力宜しくお願いします。(編集担当 吉原)